

# スマホサイトビルダー モビーク リファレンスマニュアル



更新日：2014年06月02日  
Ver: 2.0.0

## 変換について

### 変換の基本

- ・ 作成したページを実際にスマホサイト変換する..... (RF00098)
- ・ 手作業でHTMLを作っているが、モバイルに適した作り方を知りたい..... (RF00106)

### 外部ツール

- ・ CMSを使っていて、同じテンプレートを使ったサイトを複数運営している..... (RF00108)
- ・ WordPressを利用しているサイトを変換する..... (RF00115)

## 制作操作方法

### 基本操作・設定

- ・ 部品（ボタン、ボックス、エキスパンド、タブ、スライド）の形状を変更する..... (RF00065)
- ・ 配置した部品の順序（上下、左右）を入れ替える..... (RF00066)
- ・ PCサイトの画像の一部分だけを利用する..... (RF00067)
- ・ PCサイトにない画像を使う..... (RF00068)
- ・ 別ページの画像を使う..... (RF00069)
- ・ 画像に影を付ける..... (RF00070)
- ・ 画像を横並びに配置する..... (RF00071)
- ・ 画像やテキストを横並びに配置する..... (RF00072)
- ・ テキストの背景色を変更する..... (RF00073)
- ・ テキストにPCサイトで表示されている修飾をそのまま反映する..... (RF00074)
- ・ テキストの一部分のみ強調や文字色の変更をする..... (RF00075)
- ・ HTMLタグを直接記述する..... (RF00076)
- ・ 更新情報など、iframe(インラインフレーム)で構成されたページを表示する..... (RF00077)
- ・ フォームを利用する..... (RF00080)
- ・ PCサイトにないコンテンツを追加する..... (RF00084)
- ・ スライドにまとめてPCサイトの画像を配置する..... (RF00085)
- ・ 画像にリンクがついている場合、その画像がボタンだとわかるようにする..... (RF00089)

### 特殊な操作・設定

- ・ サイトの一部でBASIC認証をかける..... (RF00114)

## 高度な操作・設定

- ・ Google Mapsを利用する..... (RF00078)
- ・ YouTubeの動画を利用する..... (RF00079)
- ・ 新着情報など、内容、個数が動的に変わる要素を変換する..... (RF00082)
- ・ 不動産の物件一覧ページのような”同じルールの適用”要素を変換する..... (RF00083)
- ・ iPhoneのボタンのようにアイコンを並べたようなボタンを作成する..... (RF00086)
- ・ 変換したスマホサイトの検索一覧ページで2ページ目以降の「前のページに戻る」ボタンを表示する..... (RF00087)
- ・ 詳細画面で設定できない装飾をしたい場合にプロパティを変更する..... (RF00088)
- ・ スマートフォン表示とPC表示を切り替える..... (RF00092)
- ・ エラーメッセージの表示・非表示を同一ページで設定する..... (RF00116)
- ・ Flashから画像を抽出する..... (RF00117)
- ・ 非表示要素を表示する..... (RF00120)
- ・ 表示要素を一旦非表示にする..... (RF00121)
- ・ 制作済のスマホサイトを利用してタブレットサイトに変換する..... (RF00122)
- ・ マイパーツを作成する..... (RF00123)

## 操作トラブル

- ・ 設定していたテキストが表示されない..... (RF00090)
- ・ スマホサイトビューで表示されるアイコン..... (RF00091)
- ・ ページを更新して反映したら、実機で表示されない箇所がある..... (RF00107)
- ・ TOPページが変換されない..... (RF00109)
- ・ モビークタグを設置してもスマートフォン用のページが表示されない..... (RF00110)
- ・ スマートフォンで表示されるテキストのフォントを変更したい..... (RF00111)
- ・ 編集画面と実機の表示が異なる..... (RF00112)
- ・ PCサイトの表示が真っ白になっている..... (RF00113)

## 管理画面について

### ページ管理

- ・ ページタイトルを変更する..... (RF00060)
- ・ 不要なページを削除する..... (RF00093)
- ・ ほとんど同じようなページを効率的に作成する..... (RF00094)
- ・ SSLで保護されたページを変換する..... (RF00095)
- ・ マイページなどのログイン後のページを変換する..... (RF00096)
- ・ 作成したページを実機で確認する..... (RF00097)
- ・ PCサイトにないページを追加する..... (RF00099)
- ・ 自社のテスト環境で動作確認する..... (RF00100)
- ・ テスト環境で実機確認を行う..... (RF00101)
- ・ サイトリニューアルなどでテスト環境と本番環境を使い分ける..... (RF00102)
- ・ TOPページなどURLが違っても同じページを表示する..... (RF00103)
- ・ 1つのURLで複数のデザインを使い分ける..... (RF00104)
- ・ ページの優先度を設定する..... (RF00105)

# 変換について

## 変換の基本

● 作成したページを実際にスマホサイト変換する

RF00098

- 1 ページ管理を開きます。
- 2 スマホ変換するページの“チェックボックス”をチェックします。(下図-A)
- 3 “本番環境で有効にする”を選択した状態で、“実行”します。(右図-B)



- 4 “表示設定”に、が付きました。(下図-C)



- 5 “共通タグ発行”ボタンをクリックします。(右図-D)



- 6 “共通タグ発行”ウィンドウが開きますので、“クリップボードへコピー”ボタンをクリックします。(左下図-E)



7 PCサイトのHTMLソースを開き、<head>タグの中に、先ほどコピーしたタグを貼り付け(埋め込み)ます。(右下図-F)



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
  <meta charset="UTF-8" />
  <title>
  <meta http-equiv="content"
  <meta http-equiv="content"
  <meta name="keywords" con
  <meta name="description" d
  <link rel="index" href="j

  <link rel="stylesheet"
  <link rel="stylesheet"
  <link rel="stylesheet"
  <link rel="stylesheet"
  <link rel="stylesheet"
  <link rel="stylesheet"
  </-- mobeeek tag
  <script src="http://feed.mobeeek.net/static/loader.js"></script>
  <script type="text/javascript">
  window.mobeeek={ID:"xxxxxxxxx"};
  mobeeek.Prepare();
  </script>
  </-- mobeeek tag-->
</head>
<body class=""
  <div id=""
  <div
  <div
```

8 タグを埋め込んだHTMLをアップロードします。

9 PCサイトへスマートフォンでアクセスすると、スマホサイトへ変換されます。

● 手作業でHTMLを作っているが、モバイルに適した作り方を知りたい

RF00106

<style>タグや<script>タグはできるだけ<head>タグ内に埋め込んでください。

どうしても<body>タグ内に埋め込む場合は、以下の点に気を付けてください。

1 <script>タグ読み込み後、HTMLタグをその場書き込む形式の場合、<script>タグを<div>タグなどでさらに囲ってください。

2 <style>タグや<script>タグは<head>タグか<body>タグ内に必ず配置してください。

※<head>タグや<body>タグの外側に配置した場合、正常に動作しない場合があります。

複数のサイトを運営している場合で、サイト間で同じテンプレートを共有したい場合はご相談下さい。  
「[お問い合わせフォーム](#)」

WordPressを利用しているサイトの変更方法については、下記の2パターンがございます。  
※サイトによって詳細が異なる可能性もございますので予めご承知おきください。

### 1 WordPressへログインして変更

- ・ログイン後、左メニューより「外観」→「テーマ編集」を開きます。
  - ・header.phpは、または該当するファイルを開いて編集します。
- ※実際のPCサイトのトップページなどのhtmlソースと見比べ判断します。  
※ファイル更新ボタンで、権限エラーになる場合は、FTPからの変更が必要です。

### 2 FTPからファイルを変更

- ・htdocsや、wwwなど一旦、トップページのルートディレクトリへ移動します。
  - ・「wp-admin」や「wp-content」ディレクトリがあれば、移動します。
  - ・（上記ディレクトリが見つからない場合、）テーマを利用していることが多く、  
「/wp-content/themes/????」を探し、移動します。
- ※????は、いくつか存在する場合がありますので、中のファイルを比較する必要があります。
- ・上記ディレクトリ内の、「header.php」もしくは、「header\_xxx.php」をダウンロードして、PCサイトのソースと比較し、似たような記述の場合、タグを埋め込みます。
- ※xxxxは、任意の文字列となります。

WordPressの場合、ほとんど一括で更新されます。

※プラグインを使っている場合は、個別に対応する必要があることもございます。

**ファイルを編集される場合、万が一トラブルがあった場合を配慮し、あらかじめバックアップを取ってから作業をお願い致します。**

また、サクラエディタや秀丸など文字エンコードが自動で解析されるエディタでの編集をお勧めいたします。

# 制作操作方法

## 基本操作・設定

### ● 部品（ボタン、ボックス、エキスパンド、タブ、スライド）の形状を変更する

RF00065

- 1 各部品の詳細設定から“一覧を表示”ボタンを選択すると各部品の形状が一覧表示されます。
- 2 一覧から使いたい形状の部品をクリックすると、スマホサイトビュー側の部品の形状が選択した形状に変更されます。

### ● 配置した部品の順序（上下、左右）を入れ替える

RF00066

- 1 各スマホサイトビュー画面上で、移動させたいコンテンツ（要素もしくはコンテナ）を選択します。
- 2 移動させたい位置までドラッグ&ドロップすることで、順序を入れ替えられます。

### ● PCサイトの画像の一部分だけを利用する

RF00067

- 1 スマホサイトビューの画像要素（緑色枠）を選択し右クリック  
→ “詳細設定画面”を開きます。
- 2 画像の詳細設定メニューの“画像の切り取り”メニューから範囲を選択、  
又は数値を入力して画像を切り出します。（クロップ機能）
- 3 画像表示の拡大縮小は“幅設定”メニューにて調整できます。  
幅設定メニューから“オリジナルサイズで表示”にチェックを入れると  
サイトで利用している画像サイズに固定することもできます。



### ● PCサイトにない画像を使う

RF00068

- 1 画面上部の“イメージ”ボタンを選択して  
そのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。
- 2 スマホサイトビュー上にNo Image画像が作成されます。  
画像を選択し、右クリック→ “詳細設定”画面を開きます。
- 3 画像変更メニューの“一覧から選択”ボタンをクリックすると  
“画像一覧”画面がポップアップ表示されます。
- 4 画像一覧メニューの“画像アップロード”から  
“参照”ボタンをクリックして、利用したい画像を  
選択後、“送信”ボタンをクリックすると  
No Image画像がアップロードした画像に差し替わります。



- 1 画面上部の“イメージ”ボタンを選択してそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。
- 2 スマホサイトビュー上に画像が作成されます。No Image画像を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 3 リンクURLの“編集”ボタンをクリックしてURL入力ボックスを表示します。ボックス内に**絶対パス指定**で変更したい画像のURLを入力し、決定ボタンをクリックするとNo Image画像が指定したURLの画像に差し替わります。



リンクURL 編集  
※リンク編集を行うと内部の属性が変更されるためPCサイトと連動しなくなります。

画像変更  
 URL  決定 画像一覧

- 1 影をつけたい画像のボックスコンテナ（青色枠）を選択します。
- 2 ボックスの詳細設定メニューから“影あり”“枠あり”にチェックを入れて設定します。

形状  角丸  四角

枠  枠あり  枠なし

影  影なし  影あり  光彩

※ボックスコンテナに影を付ける場合、初期値は幅いっぱいに設定されているため、改めて幅を画像に合わせる必要があります。

- 1 画面上部の“テーブル”ボタンを選択してそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップするとスマホサイトビュー上に2行2列のテーブルが作成されます。
- 2 テーブルコンテナ（青色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 3 テーブルメニューのセルの分割数から並べたい行数・列数へ変更します。
- 4 各テーブルセルの中に画像をドラッグ&ドロップします。



- 1 画像・テキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 2 詳細設定メニュー“回り込み”にチェックを入れます。

※テーブルコンテナの中にテキスト・画像を配置することでも横並びに配置することが可能です。

回り込み  
 上下余白:10px

- 1 スマホサイトビュー上で、変更したいテキスト要素（緑色枠）を選択します。
- 2 右クリック→“親コンテナを選択”をクリックして、ボックスコンテナ（青色枠）を選択状態にします。
- 3 ボックスコンテナ（青色枠）の詳細設定画面で“ボックスの背景色”を変更することで、テキストに背景色を設定することができます。

## ● テキストにPCサイトで表示されている修飾をそのまま反映する

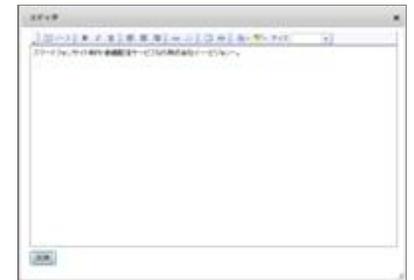
<font>タグや<strong>タグ等のPCサイトで表示されている修飾をそのまま利用したい場合

- 1 テキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 2 テキスト詳細設定の“HTML構造を保持する”にチェックを入れるとPCサイトと同じ装飾が利用できます。



## ● テキストの一部のみ強調や文字色の変更をする

- 1 変更したいテキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 2 文章編集メニューの“編集を行う”ボタンをクリックします。
- 3 HTMLエディターが開きます。HTMLエディター上で、変更したい部分に強調、背景色、文字色などの変更を行った後で“反映”をクリックすると、テキストの装飾が行えます。



※HTMLエディターを使って編集を行った場合は、PCサイト上のテキストと連動しなくなります。

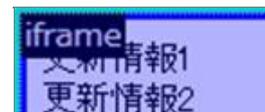
## ● HTMLタグを直接記述する

- 1 編集画面にて、テキストボタンをそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。スマホサイトビュー上にテキスト要素が作成されます。
- 2 テキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 3 エディターが開きます。HTMLエディターの左上メニュー「ソース」をクリックして、ソースを表示します。こちらにHTMLタグを直接記述することができます。



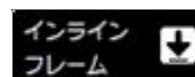
### 変換元のPCページにインラインフレームが設置されている場合

- 1 PCサイトビューでインラインフレームを選択します。選択時左上にiframeの表示が出ていることを確認します。
- 2 その他メニューから“インラインフレーム”を選択します。  
インラインフレームが選択されるとメニューボタンが黒く反転します。
- 3 PCサイトビューのインラインフレームを選択しそのままスマホサイトビューへドラッグ&ドロップします。



### 直接他のページを指定する場合

- 1 その他メニューから“インラインフレーム”を選択します。  
インラインフレームが選択されるとメニューボタンが黒く反転します。
- 2 黒く反転したメニューボタンを直接スマホサイトビューへドラッグ&ドロップします。
- 3 空のインラインフレームがスマホサイトビューに作成されます。
- 4 作成されたインラインフレーム（緑色枠）を選択し、  
右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 5 詳細設定画面の“リンク”に表示したいページのURLを入力します。
- 6 決定ボタンをクリックします。



1 編集画面にて、フォームボタンをクリックし、PCサイトビューよりフォーム部品を選択します。



2 フォーム部品をそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。  
スマホサイトビュー上にフォーム部品がレイアウトされます。

3 フォーム要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。



4 フォームの“タイトル”へ入力フォームのタイトルを入力して決定ボタンをクリックします。

5 それぞれのフォーム部品に対して、必須項目や入力タイプの変更などの設定を行います。

6 1~5までの作業を繰り返すすべての項目を入力します。

7 編集画面にて、フォームボタンをクリックし、PCサイトビューより送信ボタンを選択します。



8 送信ボタンをそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。  
スマホサイトビュー上に送信ボタンがレイアウトされます。



送信ボタンが画像の場合は下の図のように○が表示されます。



送信ボタンがフォーム部品の場合はこれで完了となります。

9 送信ボタンの“タイトル”を入力して決定ボタンをクリックします。



- 1 編集画面上部の要素選択メニュー、コンテナ選択メニューの中から、追加したいコンテンツを選び、そのボタンをそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。
- 2 各要素・コンテナを選択して右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 3 詳細設定から編集します。

## ●スライドにまとめてPCサイトの画像を配置する

- 1 スライドボタンを選択します。
- 2 Ctrlキーを押しながら、PCサイトビュー内の画像を複数選択します。
- 3 画像をスマホサイトビューにドラッグ&ドロップすることで、一度に複数の画像をスライドに配置することができます。



## ●画像にリンクがついている場合、その画像がボタンだとわかるようにする

- 1 ボックスコンテナ（青色枠）やボタンコンテナ（青色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 2 ボックスメニュー内“枠”や“影”を設定します。  
CSSを指定してタップ時に枠線が付くなどの処理も可能です。

現在は、1サイトにつき1つのみBASIC認証の設定が行えます。

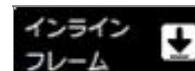
※1サイトに複数のBASIC認証を設定することは現在行えません。

※テスト環境をご利用の場合は本番環境とテスト環境で別々のBASIC認証の設定を行えます。



### PCサイトビューにGoogle Mapsがある場合

- 1 その他メニューから“インラインフレーム”を選択します。
- 2 インラインフレームが選択されるとメニューボタンが黒く反転します。
- 3 PCサイトビューのGoogle Mapsを選択しそのままスマホサイトビューへドラッグ&ドロップします。



### 直接URLを指定する場合

- 1 メニューから“テキスト”を選択します。
- 2 テキストメニューボタンを直接スマホサイトビューへドラッグ&ドロップします。
- 3 テキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 4 文字編集の“編集を行う”をクリックします。
- 5 HTMLエディターが開きます。  
HTMLエディターの左上メニュー「ソース」をクリックしてHTMLソースを表示します。

6 Google Mapsで表示したい住所を検索します。



7 Google Mapsにあるリンクボタンをクリックし、ウェブサイトへの地図埋め込み用コードを表示させます。

8 埋め込み用コードをコピーし、HTMLエディターの中にコードをペーストします。



9 “反映” ボタンをクリックします。

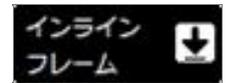


### PCサイトビューにYouTubeの動画がある場合

1 PCサイトビューの動画を選択します。  
選択時左上にiframeの表示が出ていることを確認します。



2 その他メニューから“インラインフレーム”を選択します。  
インラインフレームが選択されるとメニューボタンが黒く反転します。

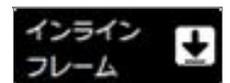


3 PCサイトビューのYouTube動画を選択し  
そのままスマホサイトビューヘドラッグ&ドロップします。



### 直接YouTubeの動画をインラインフレームの中に指定する場合

1 その他メニューから“インラインフレーム”を選択します。  
インラインフレームが選択されるとメニューボタンが黒く反転します。



2 黒く反転したメニューボタンを直接スマホサイトビューヘドラッグ&ドロップします。

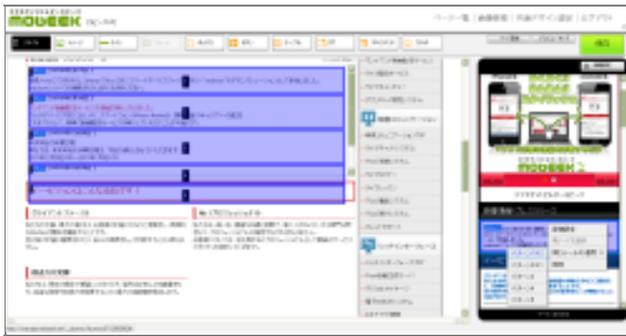
3 空のインラインフレームが表示されます。

4 インラインフレーム要素（緑色枠）を選択し、  
右クリック→“詳細設定”画面を開きます。

5 インラインフレーム編集の“リンク”に表示したい動画のURLを入力します。  
例：http://www.youtube.com/watch?v=0inHo4vPty4

6 決定ボタンをクリックします。





- 1 PCサイトで繰り返されているブロック（更新情報など、同じ構成が連続で利用されている場所）の1つをスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。
- 2 1つのブロックの変換が完了したら、スマホサイトビュー上で作成したブロック全体（青色枠）を選択します。うまく選択できない場合は、右クリック→“親コンテナを選択”を使います。
- 3 ブロックが選択できたら、右クリック→“同じルールを適用”を選択します。選択パターンが複数表示されますので、カーソルを当てながら左側のPCサイトビュー上を確認し、ルールを適用する範囲を決定します。これで、選択したブロックが、繰り返し表示されるようになります。
- 4 “同じルールを適用”を変更したい場合は、先ほど作成したブロックを再度選択して、右クリック→“同じルールを適用”→“解除する”→“選択中を残す”を選択。再度、別のパターンで“同じルールを適用”を設定することができます。

- 1 画面上部の“テーブル”ボタンを選択してそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップするとスマホサイトビュー上に2行2列のテーブルが作成されます。



- 2 テーブルの入れ子構造を使って、一つの物件情報をレイアウトします。

| NEW! グランド・ガラ神田 / 東京都千代田区<br>神田多町2丁目 |                    |
|-------------------------------------|--------------------|
| 価格                                  | 3,480万円            |
| 沿線・駅                                | 東京地下鉄丸ノ内線 淡路町 徒歩3分 |
| 専有面積                                | 41.46㎡<br>2        |
| バルコニー面積                             | 3.37㎡<br>2         |
| 所在地/階数                              | 4階/13階             |
| 築取り                                 | 1LDK               |
| 築年月                                 | 平成19年2月            |
| 取り扱い不動産会社                           | 株式会社Libeare        |
| 資料請求する                              |                    |
| お気に入りバスケットに入れる                      |                    |

- 3 作成したテーブルコンテナ（青色枠）に対し、“同じルールの適用”を設定するとページ全体の情報が一括変換されます。

| NEW! グランド・ガラ神田 / 東京都千代田区<br>神田多町2丁目 |                        |
|-------------------------------------|------------------------|
| 価格                                  | 3,480万円                |
| 沿線・駅                                | 東京地下鉄丸ノ内線 淡路町 徒歩4分(徒歩) |
| 専有面積                                | 41.46㎡<br>2            |
| バルコニー面積                             | 3.37㎡<br>2             |
| 所在地                                 | 詳細設定                   |
| 築取り                                 | 親ノードを選択                |
| 築年月                                 |                        |
| パターン1×1                             | 同じルールの適用 ▶             |
| パターン2×1                             | 削除                     |
| パターン3                               |                        |
| パターン4                               |                        |
| パターン5                               |                        |

- 1 画面上部の“テーブル” ボタンを選択して  
そのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップすると  
スマホサイトビュー上に2行2列のテーブルが作成されます。
- 2 “テーブル” コンテナ（青色枠）を選択し右クリック→“詳細設定” 画面を開きます。
- 3 “テーブル” メニューのセルの分割数を4行×2列へ変更します。
- 4 テーブルの8個のセル内にそれぞれ空の“ボタン” をドラッグ&ドロップで配置します。



- 5 “ボタン” コンテナ（青色枠）の中に、事前に用意しておいたテキスト・画像をドラッグ&ドロップします。
- 6 ボタンコンテナ（青色枠）の詳細設定メニューから“幅設定” を80%にします。



- 7 アイコンの色をボックスの背景色で設定します。
- 8 テキスト要素（緑色枠）詳細設定メニューの“上下余白” を12pxにします。
- 9 テーブルコンテナ（青色枠）の詳細設定メニュー“セル内の余白設定” 4pxにします。

【サンプル例】



## ● 変換したスマホサイトの検索一覧ページで2ページ目以降の「前のページに戻る」ボタンを表示する

RF00087

- 1 “ページ管理” 画面より作成したページのコピーボタンをクリックします。
- 2 ページタイトルと2ページ目以降のURLを登録します。
- 3 編集画面より「前のページに戻る」をスマホサイトビューへドラッグ&ドロップします。
- 4 ページを保存します。
- 5 “ページ管理” 画面へ戻りコピー元のページを削除します。
- 6 この場合、1ページ目を表示したときには、「前のページに戻る」ボタンは表示されませんが、2ページ目以降を表示した際には、「前のページに戻る」ボタンが表示されます。

※検索結果の1ページ目をもとに編集しているので、「前のページに戻る」ボタンがレイアウトされていないと表示されません。作成したページのコピーを作成し、2ページ以降を登録して編集してください。



- 1 編集画面にて、テキストボタンをそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。スマホサイトビュー上にテキストがレイアウトされます。
- 2 テキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 3 編集画面にて、テキストボタンをそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。スマホサイトビュー上にテキストがレイアウトされます。
- 4 テキスト編集画面のCSS詳細設定タブをクリックします。
- 5 編集画面にて、テキストボタンをそのままスマホサイトビュー上にドラッグ&ドロップします。スマホサイトビュー上にテキストがレイアウトされます。
- 6 テキスト要素（緑色枠）を選択し、右クリック→“詳細設定”画面を開きます。
- 7 テキスト編集画面のCSS詳細設定タブをクリックします。
- 8 CSS設定より設定したいスタイルを入力します。

例：<li>要素を変換したときに要素の左に付く「・」を消す場合、  
list-style-type:none;と入力します。



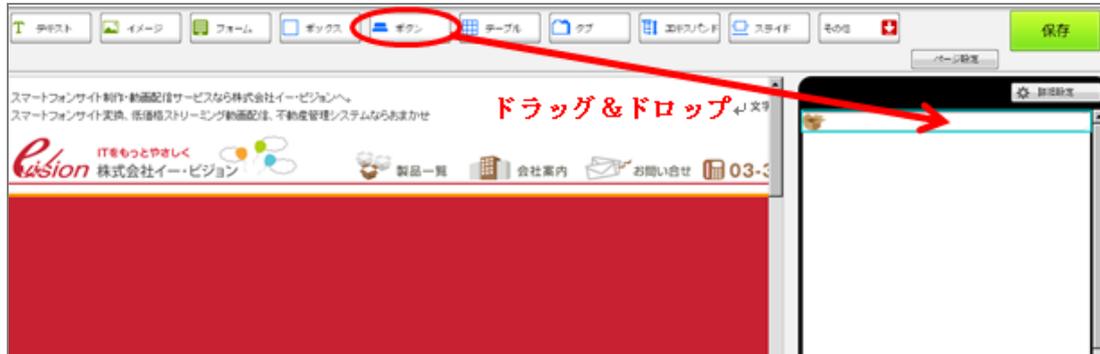
PCサイト表示機能を用いることで、スマートフォンサイト ⇄ PCサイトの表示切替ができます。

### 「PCサイトを表示」ボタンの作成方法

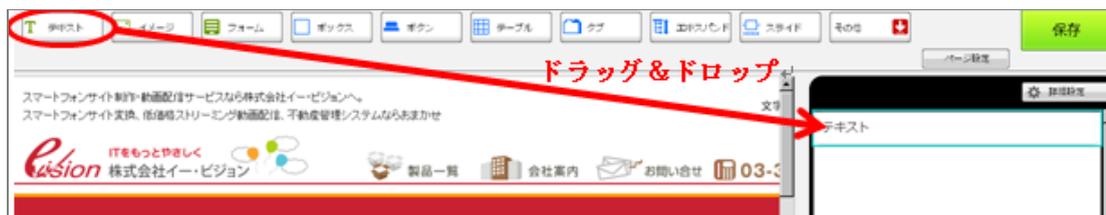
スマートフォンサイト内に、「PCサイトを表示」ボタンを作成します。

このボタンを押すと、スマートフォン表示からPC表示に切り替えることができます。

- 1 モビークの編集画面で、メニューから「ボタン」ボタンをスマホサイトビューまでドラッグ&ドロップしてボタンを新規作成します。



- 2 1 で作成したボタン内に、メニューから「テキスト」ボタンをドラッグ&ドロップしてテキスト要素を新規作成します。



- 3 2 で作成したテキスト要素を選択し、「詳細設定」ボタンを押して詳細設定ダイアログを表示させます。  
詳細設定ダイアログ内のテキストを編集し、文面を「PCサイトを表示」に変更します。



- 4 2 で作成したテキスト要素のリンクURLを編集し、内容を「javascript:feedPrepare.\_to\_pc();」に変更します。



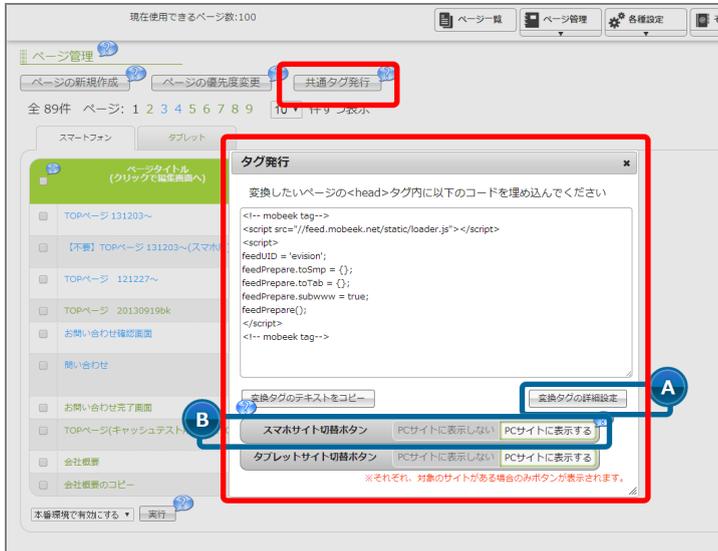
- 5 1 4 で作成したボタンのデザインを調整します。

## 「スマートフォンサイトはこちらから」ボタンの設置方法

PC表示を行った時に、「スマートフォンサイトはこちらから」ボタンを設置する方法をご紹介します。

1 「ページ管理」画面の「共通タグ」ボタンをクリックして、「タグ発行」ダイアログを表示させ、「クリップボードにコピー」で共通タグをコピーします。

※ A 「変換タグの詳細設定」ボタンにある B 「スマホサイト切替ボタン」が「PCサイトに表示する」になっているか確認してください。



2 1 で表示されるタグをお客様のPCサイトのHTML内に埋め込んでいただきます。

【「PCサイトを表示」ボタンの作成方法】で作成した「PCサイトを表示」ボタンを押してPCサイト表示を行った場合に、ページの上部に「スマートフォン表示ボタン」が表示されます。

実際にPCサイト表示を行った際の表示は以下のようになります。



※「スマートフォンサイトはこちらから」ボタンが表示されるのはスマートフォンでアクセスした場合のみです。PCでアクセスした場合には「スマートフォンサイトはこちらから」ボタンは表示されません。

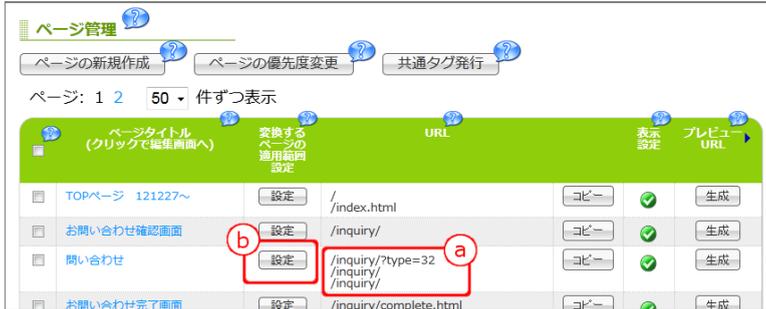
※元々のPCサイトのデザインによっては「スマートフォンサイトはこちらから」ボタンの表示が崩れることがございます。この機能をご利用頂く際は、必ず表示の確認を行って頂きますようお願い致します。

モビークでは、1つの変換ルール(設定)を複数のページに適用することが可能です。

「図1」の(a)のように、複数のURLを登録することができます。

※今回の場合、POST情報も登録している箇所があるため、URLは同じように見えますが、それぞれ別の表示になっています。

複数のURLを登録する場合は、「図1」の(b)にある「設定」から行えます。

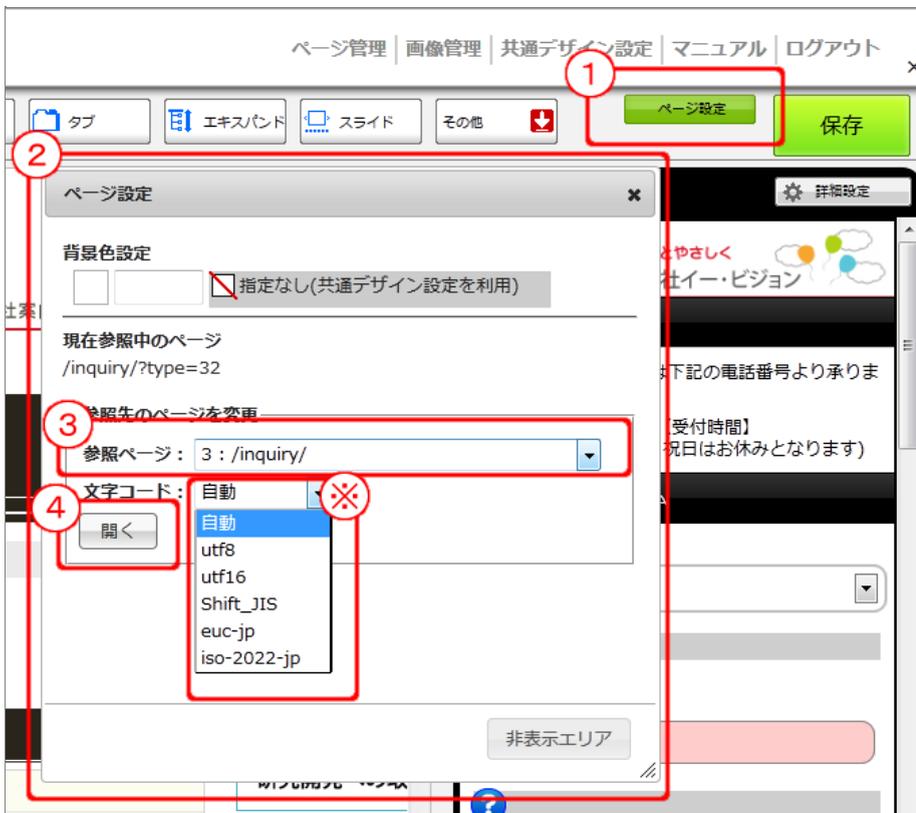


(図1)

登録したURLを、編集画面で開く方法は以下の手順になります。

「図2」と合わせて確認ください。

- 1 編集画面右上にある「ページ設定」ボタンを左クリックします。
- 2 「ページ設定」ウィンドウが開きます。
- 3 「参照ページ」のプルダウンから開きたいページを選択します。  
(※)文字化けする場合は、こちらから文字コードを指定することができます。  
主に、文字コード指定が正しくない場合に、「自動」で判別ができない場合があります。
- 4 「開く」を押すと、編集画面が再度読み込まれます。



(図2)

【利用例】※入力フォームでエラーメッセージありなし

「図3」と「図4」は、入力画面の「通常版」と「エラーメッセージ表示版」の2パターンを、1つの変換ルール(設定)で実現させたものです。

(A) エラーメッセージがないため、「?マーク」が表示されています。

この「?マーク」は、PCサイトに要素が見つからない事を示しています(編集画面でのみ表示されます。実際のスマホサ

イト変換時には表示されません)。  
 (B) エラーメッセージが表示されています。



(図3) 通常版

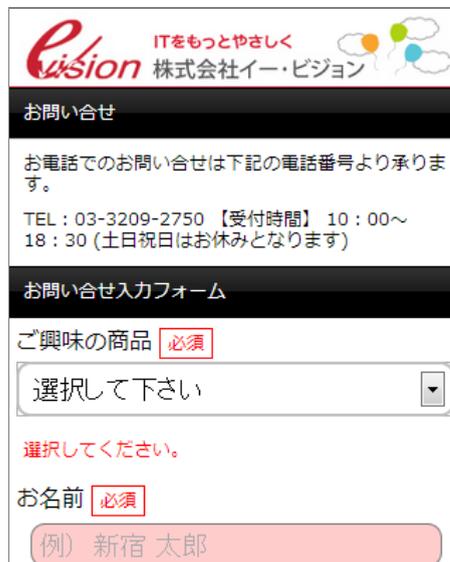


(図4) エラーメッセージ表示版

スマホでアクセスした実際の表示



(図5) 通常版



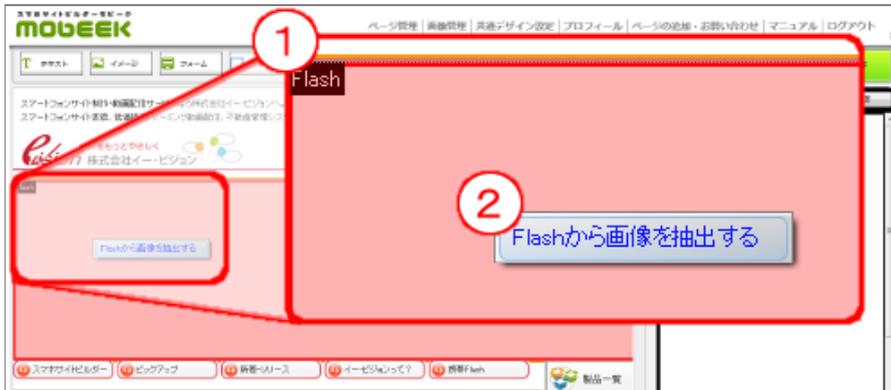
(図6) エラーメッセージ表示版

Flashから画像を抽出する方法は以下の通りです。

※PCサイトと連動はできません。

※画像のURLを指定して表示している形式のFlashは、現在画像抽出が行えません。

(図1)



(図1-1) 本来表示されるはずのFlashがある箇所をクリックします。(赤色の枠で囲まれます)

(図1-2) コンテキストメニューより「Flashから画像を抽出する」を選びます。

※抽出する旨のアラートがでますが、問題なければ「はい」を押してください。

※「Flashから画像を抽出する」ページが、別ウィンドウで開きます。

(図2)



※(図1-2)の操作後、自動的に画面が遷移するため、(図2-3)(図2-4)の操作は不要です。

(図2-3) 先ほど選択したFlashのURLがこの中に入っています。

(図2-4) 「画像を抽出する」ボタンで抽出が開始されます。

(図3)



(図3-5) 抽出した画像一覧が表示されますので、利用したい画像を「チェック」をしていきます。

(図3-6) 「チェックした画像を利用する」を押すと、抽出した画像がアップロード画像として利用できます。

(図4)



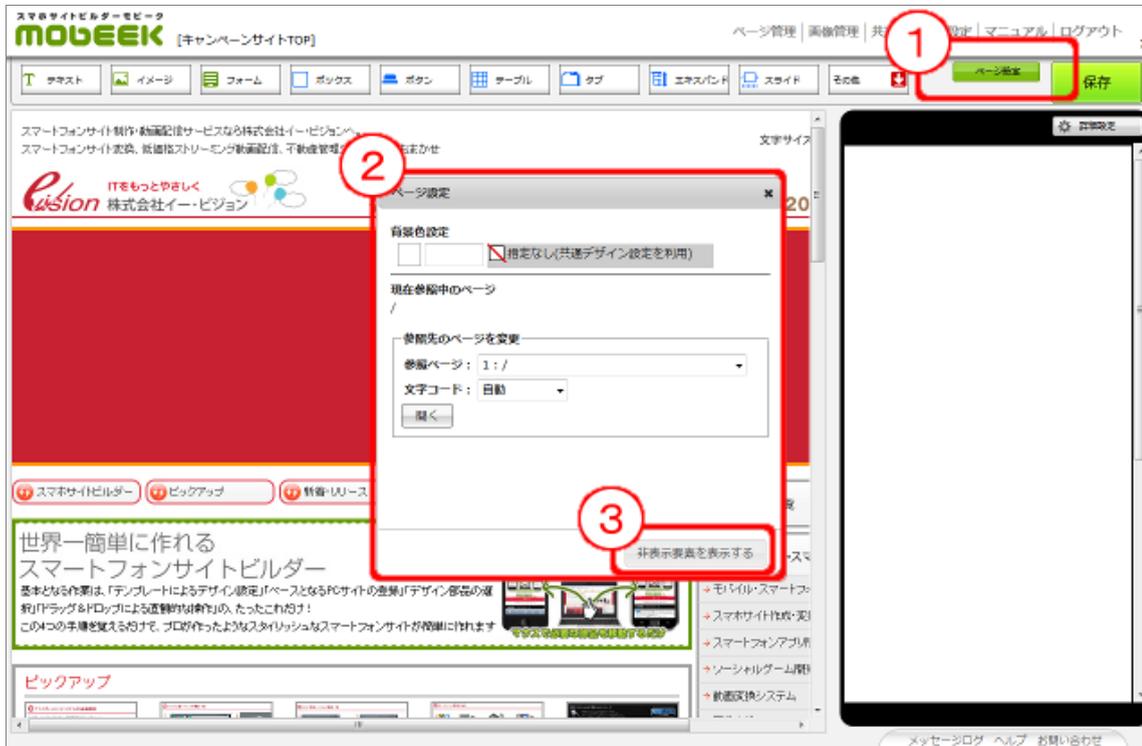
(図4-7) 「画像管理ページ」のアップロード画像一覧を見ると、アップロードされていることが確認できます。

(図4※)FlashがJavaScriptで書き出されている場合、編集画面より抽出コマンドを利用できません。その場合は、画像管理ページの「Flashから画像を抽出する」ボタンを押し、(図2-3)から手動で入力し抽出してください。

以下が、利用手順となります。

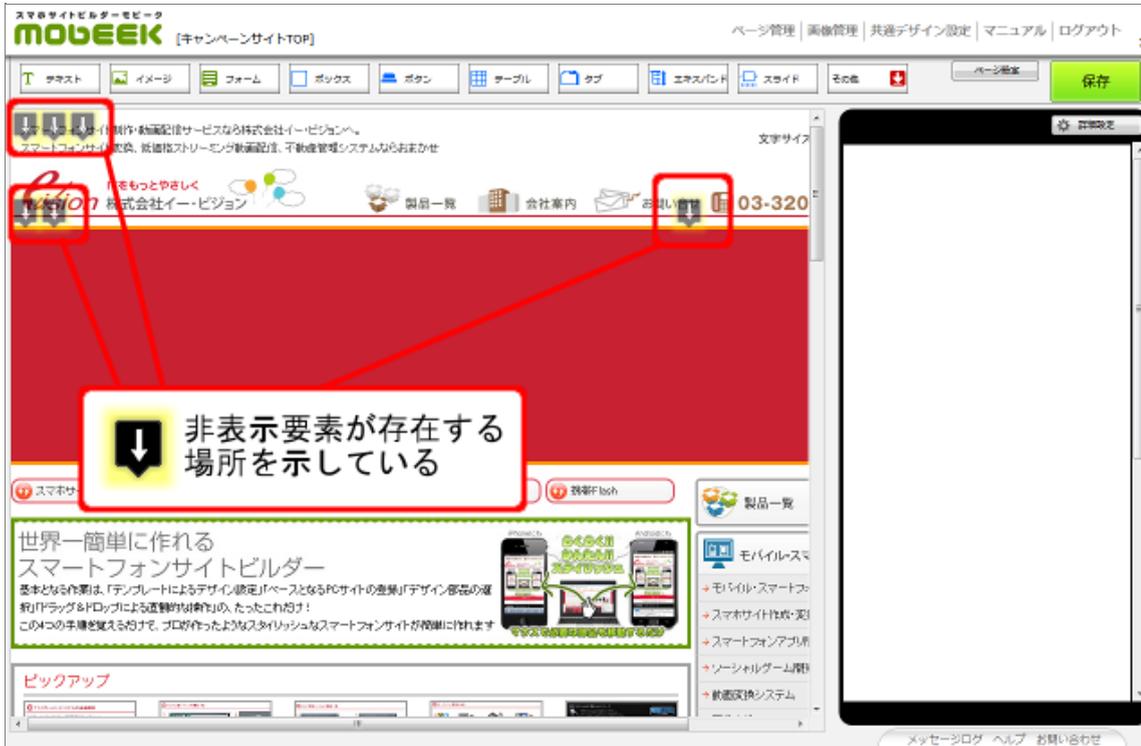
- 1 「ページ設定」 ボタンを押します。
- 2 「ページ設定」 ウィンドウが開きます。
- 3 「非表示要素を表示する」 ボタンを押します。

(図1)



すると、(図2)のようなアイコンが表示されるようになります。

(図2)



4 アイコンをクリックすると黄色から赤色に変化して

5 非表示になっていたものが表示されます。

(図3)



これで、ドラッグ&ドロップできるようになります。

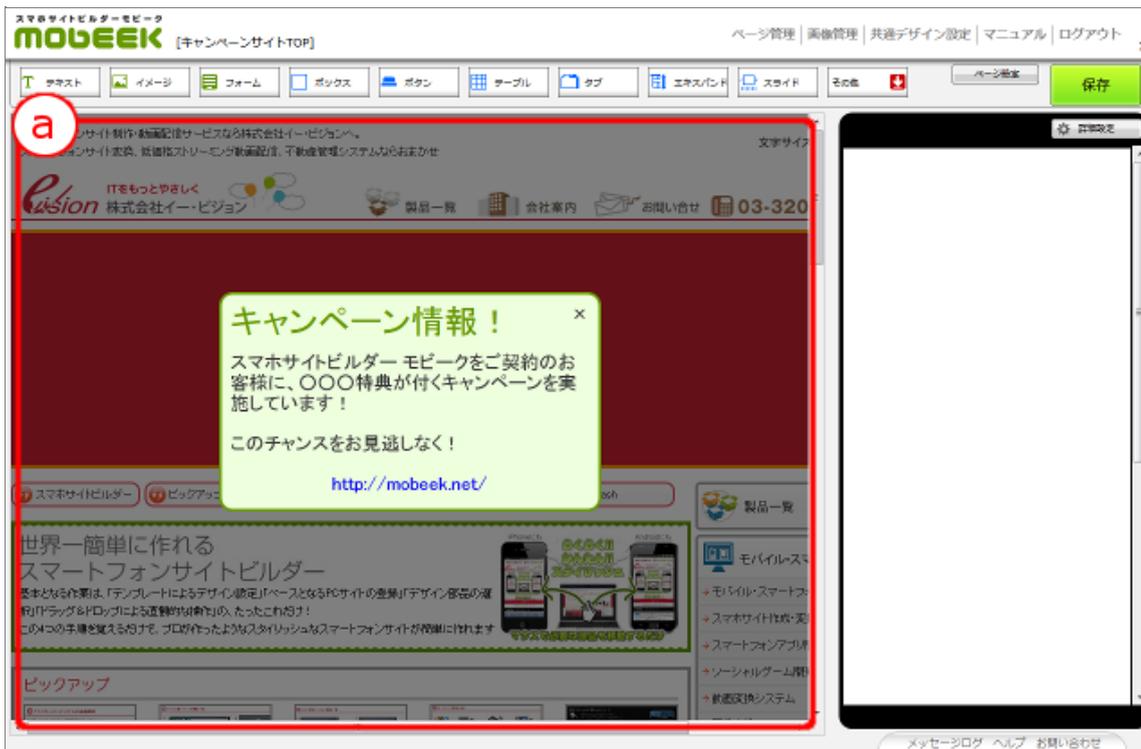
もう一度クリックして、赤色から黄色にすると、非表示にすることができます。

※このアイコンを非表示にする場合は、再び「ページ設定」から「非表示要素を表示する」を押してください。

以下が、手順となります。

a. 一旦非表示にしたい要素を左クリックで選択します。

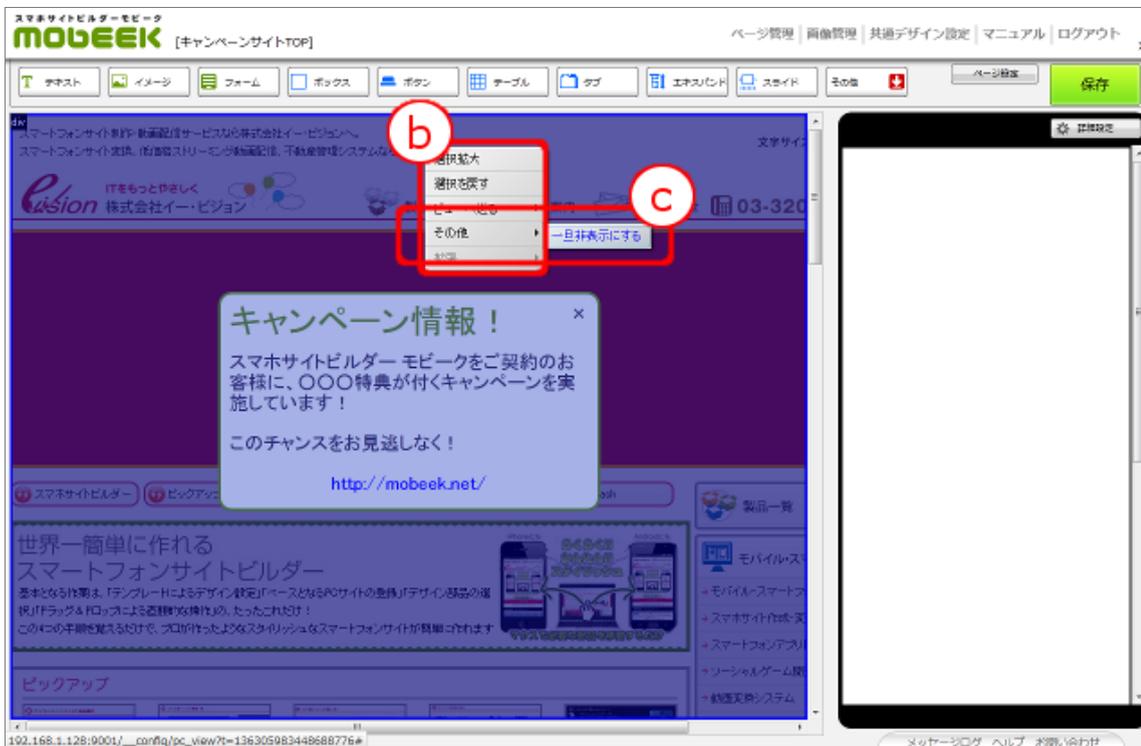
(図1)



b. 右クリックを押して、コンテキストメニューを表示します。

c. 「その他」から「一旦非表示にする」を選択します。

(図2)



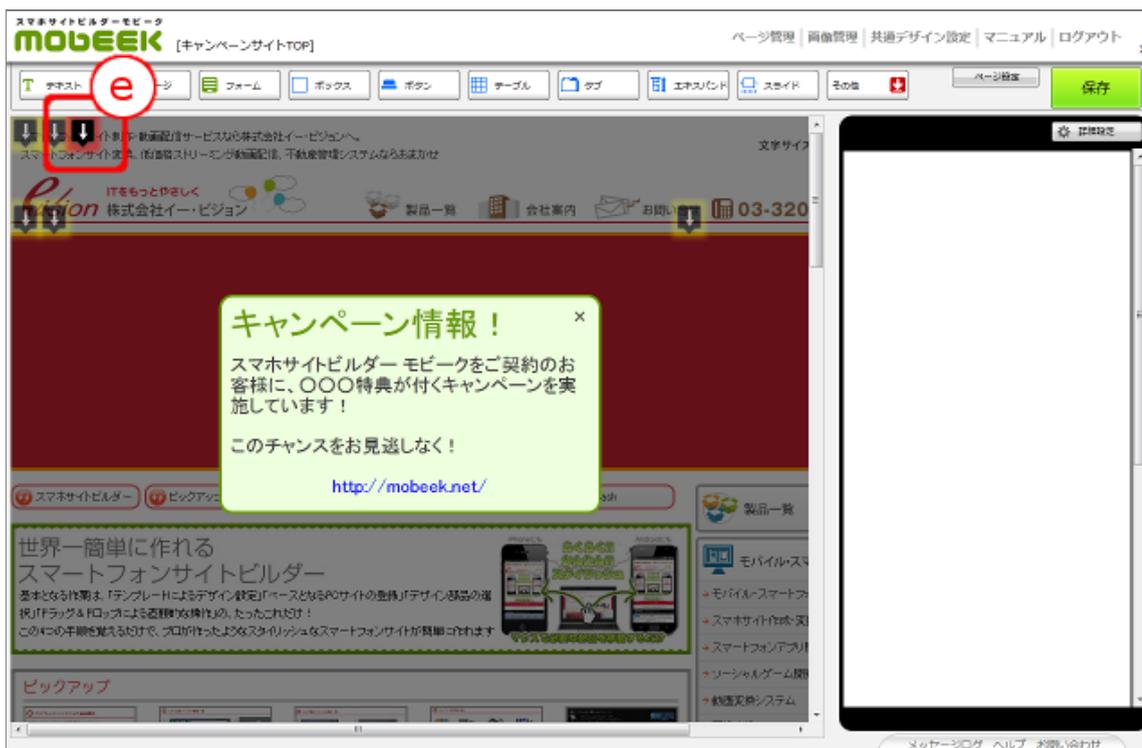
d. 非表示状態になりました。

(図3)



e. 非表示にした要素は、「非表示要素を表示する機能」を利用して再び表示することが可能です。

(図4)



※ここで非表示にしても、スマホサイト変換時にドラッグ&ドロップしている場合表示されます。スマホサイト変換時に非表示にしたい場合は、テキスト要素としてドラッグ&ドロップ後、「非表示タグ設定」から非表示にするタグを指定してください。

●タブレットレイアウトの設定

タブレットレイアウトの設定画面を開きます。

- 1 ログイン後のヘッダーメニューから「各種設定」を押します。
- 2 プルダウンで表示されたメニューから「タブレット設定」を押します。

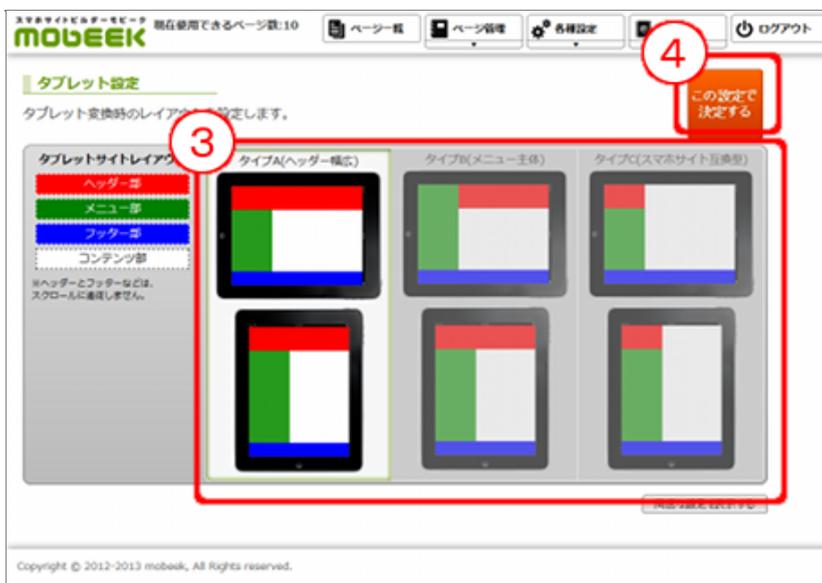


- 3 タブレット設定画面で、タブレットレイアウトを設定できます。

※現在のスマホサイトをそのままタブレット対応する場合は、「タイプC(スマホサイト互換型)」をご利用いただくと即座に対応できるかと思われます。

※赤枠はヘッダー、緑枠はメニュー、青はフッター、白はコンテンツと、表現上分かれており、それぞれどこに配置するかを指定していきます。(4)保存する事で選択したレイアウトになります。

※設定していない場合は、「タイプA(ヘッダー幅広)」になります。



## ●タブレットサイト制作手順

現バージョンでは、スマホサイトを元に、タブレットサイトを制作します。タブレットサイト化したいスマホサイト編集画面を開いてください。



1 ルートコンテナ選択モードを利用するため、「ページ設定ボタン」をクリックします。

2 「選択・ドロップモード切替」ボタンをクリックします。

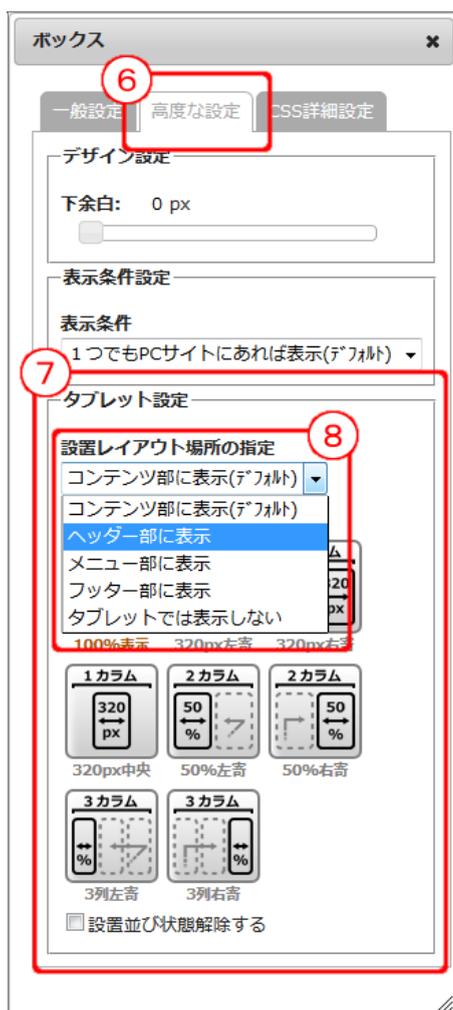
※タブレット設定は、一番外枠にあるコンテナにしか設定できません。



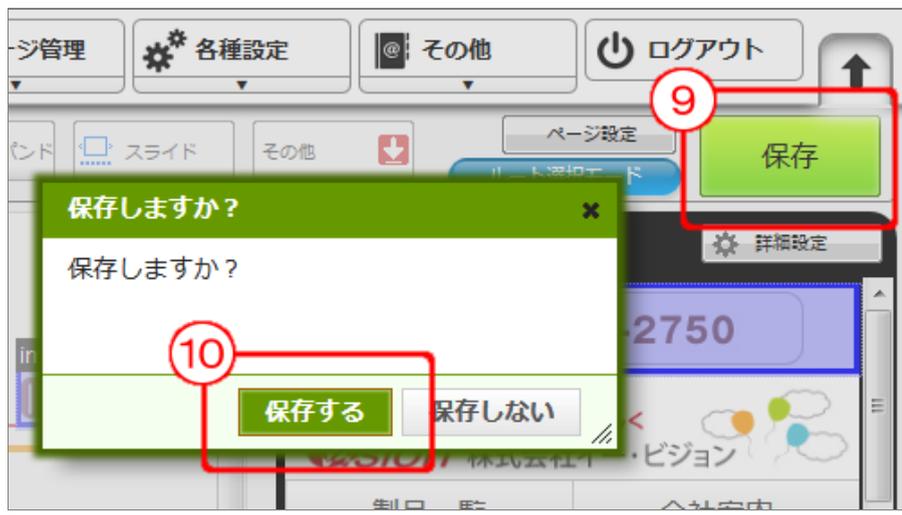
- 3 ページ設定ボタン下に表示された、選択・ドロップモード切替ボタンを2回クリックし、「ルート選択モード」にします。
- 4 レイアウトの位置を変更したいコンテナを右クリックします。
- 5 詳細設定を開きます。



- 6 高度な設定タブを開きます。
- 7 タブレット設定はこのあたりにあります。
- 8 「設置レイアウト場所の指定」から、設置したい場所を選択します。



- 9 10 保存します。



## ●タブレットサイトプレビューとリリースについて

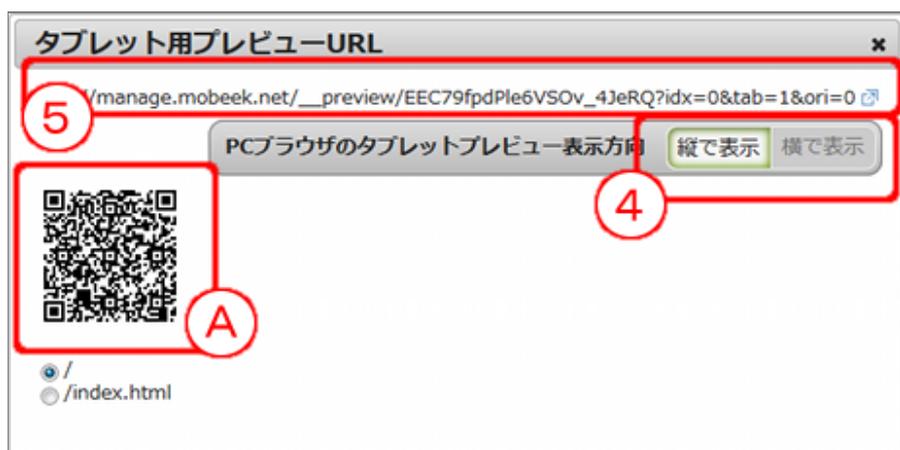
タブレットサイトのプレビューと、実際に変換するための手順です。

※なお、スマホサイト化されている事が前提の手順ですので、変換タグの埋め込みについては割愛します。

- 1 ヘッダーメニューより「ページ一覧」を押します。
- 2 「タブレット」ボタンでタブレット情報に切り替えます。  
※「スマートフォンと「タブレット」のページ情報は同じですが、配信設定などは別々になっています。
- 3 「生成」ボタンを押します。



- 4 PCブラウザで確認する場合は、縦か横の表示かを事前を選択します。
- 5 URLをクリックする事で別ウィンドウでプレビューが確認できます。  
A タブレットで実際に確認する場合は、こちらのQRコードを読み取ります。(縦・横表示は自動で判断されます。)



- 6 プレビューを閉じた後、「タブレット」になっていることを確認します。
- 7 タブレットサイト化したいページの左のチェックボックスをクリックします。
- 8 「本番環境で有効にする」の状態「実行」を押します。※表示設定にチェックマークが付きます。  
タブレットサイト化するためには、「タブレット変換利用」の契約が必要になります。
- 9 ヘッダーメニューの「その他」メニューを押します。
- 10 「アップグレード」メニューを押して、各種項目を入力後、「有料版へアップグレード」  
「タブレット環境の利用申込」の順にお申し込みください。



以下の手順で、マイパーツを作成できます。

- 1 マイパーツ化にまとめたいコンテナを選択します。

※複数選択可能

- 2 右クリックを押します。

- 3 マイパーツ化を押します。

※スライドとタブ、インラインフレームやフォームを含む場合、マイパーツ化できません。



4 マイパーツ名を入力します。

5 マイパーツ種別を選択します。

※必須ではありませんが、選択しておくこと、今後の追加機能や管理する際に便利です。

6 保存(作成)ボタンを押します。

※この時点では、まだ完全に保存されていません。

7 保存を押すことで、マイパーツが保存されます。

(A) マイパーツは、オレンジ色で選択されます。

※内部のコンテナや要素を選択する事はできません。

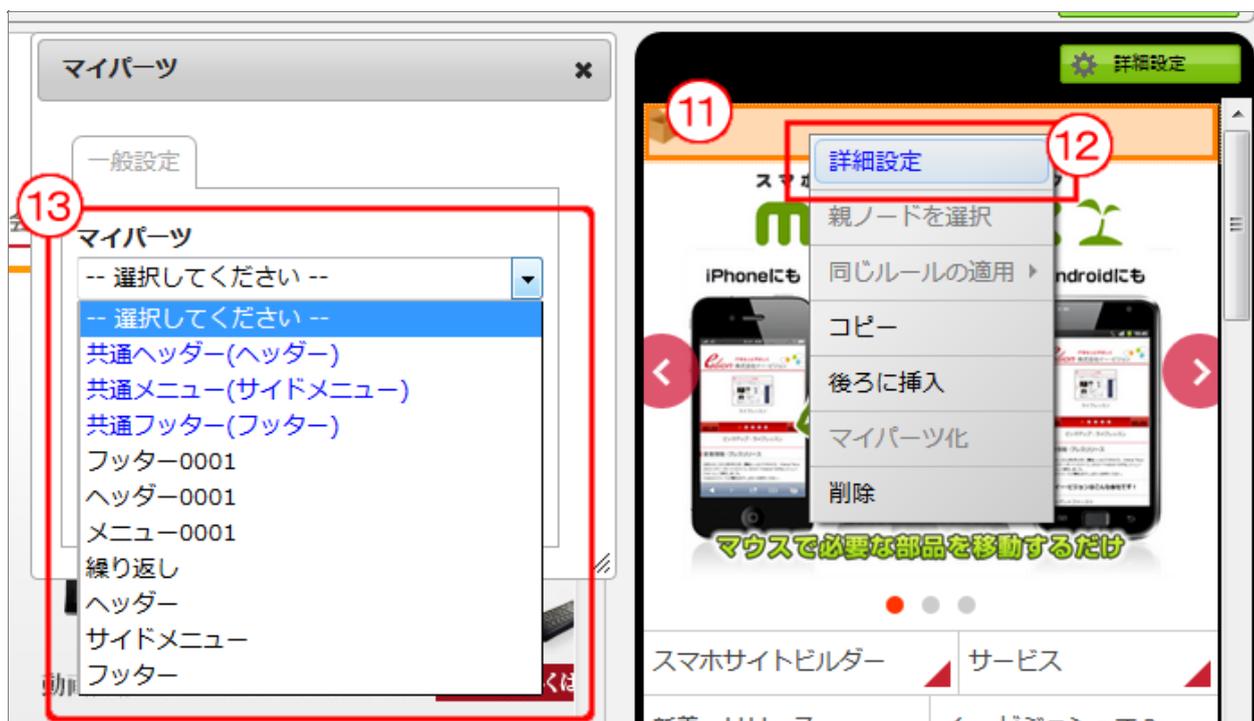


●作成したマイパーツを追加する方法

- 8 選択メニューから「その他」を押します。
- 9 プルダウンから、「マイパーツ」をドラッグドロップします。
- 10 ドロップしたマイパーツは、初期状態では空白になっています。



- 11 ドロップしたマイパーツを右クリックします。
- 12 詳細設定を開きます。
- 13 「マイパーツ」より、表示したいマイパーツを選びます。

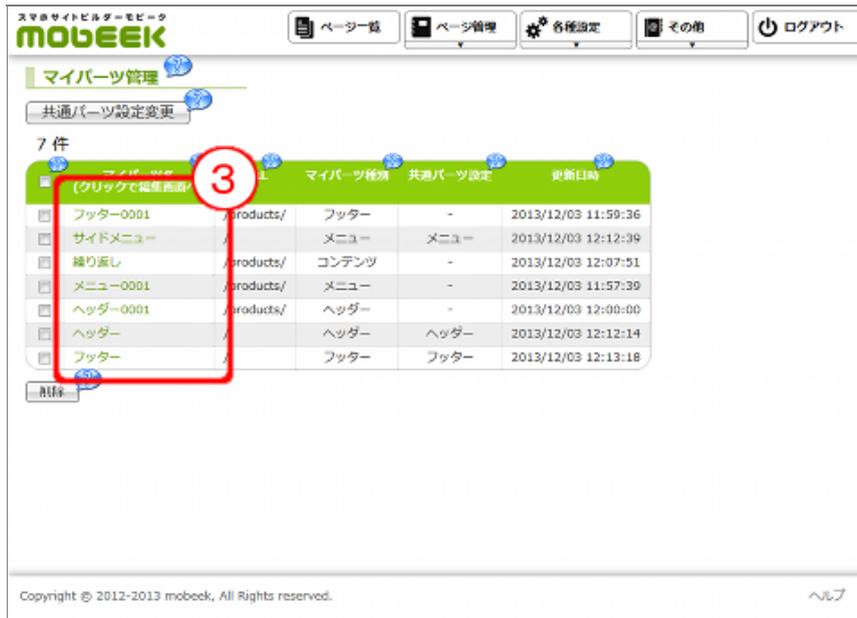


●作成したマイパーツを編集する方法

- 1 ヘッダーメニューより「各種設定」ボタンを押します。
- 2 プルダウンで表示されたメニューより「マイパーツ設定」を押します。



- 3 マイパーツ設定画面が開くので、編集したい「パーツ名」をクリックします。



- 4 編集画面が開きますので、同じようにドラッグドロップで作成し、保存して下さい。  
※PCサイトとの連動を切ると、他のページでも確実に利用できるようになります。  
※編集すると、このマイパーツを利用している箇所も変更されます。



# 操作トラブル

## ● 設定していたテキストが表示されない

RF00090

以前の設定時からPCサイトの構造が変わっている可能性があります。

編集画面で確認すると、通知アイコンが表示されますので、確認の上、再度ドラッグ&ドロップで、編集し直して下さい。

表示要素が見つからない場合



通知アイコン

## ● スマホサイトビューで表示されるアイコン

RF00091

テキストや画像が見つからない場合などを通知するため、アイコンが表示されています。

アイコンにカーソルをあてると説明文が表示されます。

例1: テキストが見つからない場合 画像の属性がない状態

例2: 画像が見つからない場合 テキストを画像と表示しようとした場合



通知アイコン

## ● ページを更新して反映したら、実機で表示されない箇所がある

RF00107

HTMLの構造が変わると表示されない箇所が出てくる場合があります。編集画面でご確認ください。

## ● TOPページが変換されない

RF00109

TOPページへのアクセス方法が2通りある可能性があります。

URLの指定で「/index.html」が設定されている場合、「/」を設定してみてください。

そちらでも解決できない場合は、「[モビークタグを設置してもスマートフォン用のページが表示されない](#)」をご参照ください。

## ● モビークタグを設置してもスマートフォン用のページが表示されない

RF00110

元のPCサイトのページに構文エラーなどが存在すると、正しくスマートフォンサイトの表示が行えない場合があります。

PCサイトの構文チェックを行ってください。

[こちらのページ](#)よりチェックを行ってページのエラーを修正してください。（※外部サービスとなります。Another HTML-lint gateway）

または、以下の原因が考えられます。

**1** 本番環境もしくは、テスト環境へ変換ルールを利用する設定ができていない場合があります。

「ページ管理」画面で「本番環境で有効にする」を実行して下さい。

**2** 埋め込むタグが間違っていないか確認ください。

「複数のサイトを管理している場合や、複数のタグで1つのサイトを利用しようとした場合」

**3** PCからは確認できません(できない場合があります)。

「PCからユーザーエージェントを変えてアクセスしている場合」

上記の原因に当てはまらない場合は、お手数ですが弊社までご連絡下さい。

※ご連絡いただいても対応できないケースもございます。あらかじめご了承下さい。

スマートフォンで最適に表示されるフォントを設定しているためフォントの変更は行えません。  
PCで表示されるフォントとスマートフォン実機で表示されるフォントは異なりますので必ず実機でご確認下さい。

編集画面と実機の表示が異なる場合には、以下の原因が考えられます。

1 【表示そのものが違う場合】

・`<script>`タグなどで、HTMLを動的に操作している。

※動的にHTMLタグを生成したり、HTML要素の属性を変更したりしている場合、正常に表示ができない場合があります。

2 【テキストの改行位置やフォントが違う場合】

・端末毎に利用しているフォントが違う場合、テキストの改行位置やテキストの形状が若干異なる場合がございます。

・Windowsをお使いの場合、編集画面やプレビュー画面で、ひらがなや漢字などに斜体がかからない場合がありますが、スマートフォンでの表示は斜体がかかるため、編集画面とスマートフォン実機での見た目が若干異なる場合があります。

3 【画像の切り抜き】

Firefoxを用いて編集を行った場合、画像の切り抜きを行うと、編集画面と実際の画面で切り抜き範囲が1ピクセルずれる場合がございます。

Google Chromeをお使い頂くと、より実際の切り抜き範囲に近い切り抜きが行えます。

PCサイトのボリュームによっては、多少表示に時間がかかる場合があります。  
PCサイトの情報を全て読み終える間、画面への描画を行っていないためです。  
※画像は読み込み対象から除いています。

# 管理画面について

## ページ管理

### ● ページタイトルを変更する

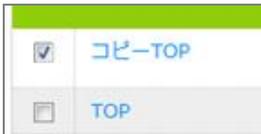
RF00060

- 1 ログインして、ページ管理を開きます。
- 2 ページ一覧表より、変更したいページの中央にある「設定」ボタンを押します。
- 3 「変換するページの適用範囲設定」ページが開きます。
- 4 「ページタイトル」項目を編集します。
- 5 後は、「次へ」「次へ」「確定する」とボタンを押すことで変更が完了します。

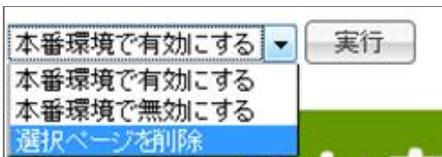
### ● 不要なページを削除する

RF00093

- 1 ページ管理を開きます。
- 2 削除したいページをページ一覧メニューから選び左端のチェックボックスにチェックを入れます。



- 3 セレクトボックスで「選択ページを削除」を選択し、実行ボタンを押すとページが削除されます。



※PCサイトにタグが入っていたページを削除した場合は、スマートフォン実機でアクセスしても、PCサイトが表示されません。

### ● ほとんど同じようなページを効率的に作成する

RF00094

- 1 ページ管理を開きます。
- 2 コピーしたいページをページ一覧メニューから選びコピーボタンをクリックします。
- 3 元になるページのタイトルとURLが表示されます。

同様に交換したいページのタイトルとURLを入れ登録することでページ管理へ新規登録が行われます。

タイトルをクリックして編集画面へ遷移すると元になるページと同様の交換ルールが適用されたページが表示されません。

- 1 ページ管理を開きます。
- 2 ページ新規作成ボタンをクリックします。
- 3 “ページの新規作成” ページメニューの  
“https://から始まるURLを編集する場合は コチラから作成して下さい。”  
をクリックします。
- 4 ページタイトルを入力します。
- 5 変換元となるURLを登録します。
- 6 ” 確定する” ボタンをクリックしてページを登録します。
- 7 ページ管理より登録したページを編集します。



- 1 ページ管理を開きます。
- 2 “ページ新規作成” ボタンをクリックします。
- 3 ページタイトルを入力します。
- 4 “ナビから登録” ボタンをクリックします。
- 5 ナビゲーションページよりログインを行います。
- 6 編集したいページまでナビゲーションページ登録画面内で遷移します。
- 7 編集したいページまで移動したら画面右上の“このページを登録する” ボタンをクリックします。



- 8 ページ管理より登録したページを編集します。

- 1 ページ管理を開きます。
- 2 確認したいページをページ一覧メニューから選び、プレビューURLの“生成”ボタンをクリックします。
- 3 QRコードと確認用URLが表示されます。
- 4 QRコードをスマートフォン実機で読み取り、スマートフォン実機で表示を確認します。



- 1 お客様のPCサイトへ、空白のページを用意していただきます。
- 2 作成したページのURL新規登録を行います。
- 3 編集画面を開き、新規コンテナ・要素を追加していきます。

オプションでテスト環境の設定が行えます。お問い合わせ下さい。  
「[お問い合わせフォーム](#)」

テスト環境が登録されている場合、テスト環境内での実機確認を行うことができます。

- 1 ページ管理を開きます。
- 2 “タグ発行” ボタンをクリックします。
- 3 テスト環境のPCページの<head>タグ内にモビークタグを埋め込みます。
- 4 ページ管理の表示設定にて“テスト環境で有効にする”を選択し、“実行” ボタンをクリックします。
- 5 テスト環境での実機確認を行うことができます。

| 表示設定<br>本番環境 | 表示設定<br>テスト環境 |
|--------------|---------------|
|              | ✓             |
| ✓            |               |
| ✓            |               |

リニューアル前のページとリニューアル後のページを複数登録することができ、表示設定もテスト環境と本番環境での表示・非表示が可能です。

- 1 事前にリニューアル後のページをテスト環境へ登録します。
- 2 ページ管理メニュー“表示設定本番環境”の表示設定を無効にして準備。
- 3 本番への反映は、表示の切り替えを現在表示しているページ（テスト環境）を無効にし、切り替えたいページ（本番環境）を有効にします。

http://xxxx.com/index.htmlやhttp://xxxx.com/のように同じTOPページの内容が表示されるがURLが違う場合は、ページ管理の変換するページの適用範囲設定でそれぞれ登録することができます。

「POSTパラメータによって同じURLでもデザインが大きく異なる場合」など、1つのURLで複数のデザインを使い分ける方法を説明します。

- 1 「ページ管理」画面で「ページの新規作成」をクリックして「ページの新規作成」画面を開きます。
- 2 「ページの新規作成」画面で「ナビから登録」をクリックして「ナビゲーションページ登録」画面を開きます。
- 3 「ナビゲーションページ登録」下部の画面内で、登録したいページまで遷移します。
- 4 目的のページまで移動したら、「このページを登録する」をクリックします。
- 5 「ページの新規作成」画面に戻ってきたら、「確定」をクリックしてページを作成します。
- 6 作成したページのデザインを編集します。
- 7 1 ~ 6 の手順を繰り返して、使い分けたいデザインの数だけページを作成します。



- 8 「ページ管理」画面に表示されるテーブルの右上にある矢印をクリックし、「個別タグ」を表示させます。
- 9 「発行」ボタンをクリックして表示される個別タグをPCサイトのページに貼り付けます。



- 10 9 の手順を使い分けたいデザインの数だけ繰り返します。

※使いたいデザインに合わせて、プログラムを使用してPCサイトのページに埋め込む個別タグを動的に切り替える必要があります。

※1つのURLに対して1つのデザインしかない場合は個別タグを使用する必要はありません。「共通タグ」をご使用下さい。

※1つのページには「個別タグ」か「共通タグ」のどちらかしか使用することはできません

(1つのサイト内に「個別タグ」を使用したページと「共通タグ」を使用したページを混在させることは可能です)。

例：

1 /products/.\*\$ ← /products/で始まるURL全て

2 /products/hosting/.\*\$ ← /products/hosting/で始まるURL全て

/products/で始まるページのうち、/products/hosting/で始まるものは 2、それ以外は 1 を適用させたい。

/products/hosting/ondemand/には、2 を適用させたくても優先順位を 1、2 の順にしてしまうと 1 のほうが優先して適用される。

優先順を 2、1 に入れ換えると 2 が優先されるので、/products/hosting/ondemand/には 2 が適用される。